

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター善通寺



○事業所名	COMPASS発達支援センター善通寺			
○保護者評価実施期間	2025年9月10日		～	2025年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数)	32人
○従業者評価実施期間	2025年9月5日		～	2025年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れてております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守し、より良い支援の提供に取り組んでまいります。
2	環境がとても良好で、フルフラットの施設内は過ごしやすく、庭もあるため戸外での活動も可能です。	季節の野菜を育てて収穫し、食べる「食育」にも楽しみながら取り組んでいます。長期休暇には掃除を一緒に行うなど、児童と職員が共に過ごしやすい環境づくりを行っております。	今後も気候の良い時期には、積極的に戸外での活動に取り組んでまいります。
3	職員間の関係性は良好で、風通しの良い職場環境が整っています。定期的に職員間で研修を実施しています。	日々の気づきを職員同士で共有し、家族支援や関係機関との連携にも活かしております。児童指導員・保育士・作業療法士など、それぞれの専門性を活かしながら全職員のスキル向上に努めております。	今後も、こまめなミーティングを通じて意見交換や支援について話し合う機会を継続的に設けてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者向けの研修会の実施が継続的には行われておりません。	前年度に一度、支援学校へ進学予定の児童の保護者を対象に実施しましたが、今年度は利用児童の年齢層の変化もあり継続開催には至っておりません。	今後は、保護者様のご要望や必要性に応じて、開催を検討してまいります。
2	地域との交流の機会が十分に設けられておりません。	コロナ禍以降、交流にあたり地域との接点の開拓が十分にできておりません。また外部とのトラブルを回避するため、現在は事業所単体での活動が中心となっております。	今後は地域の公共施設などに出向く機会を設けるなど、地域との交流の場を少しずつ増やし、事業所の活動を知っていただく機会をつくってまいります。
3	活動のスペースは十分に確保できていますが、児童がクールダウンするために対応できる個別のスペースが不足しています。	活動のスペースは十分に確保できていますが、児童がクールダウンするために対応できる個別のスペースが不足しています。	状況に応じて仕切りなどを活用し、柔軟に環境整備や環境設定の見直しを行ってまいります。今後は、個室の確保ができるよう建物の改修等についても検討してまいります。

